

集団検診機関に対する 検診機関用チェックリスト調査について

青森県がん・生活習慣病対策課

平成30年12月5日

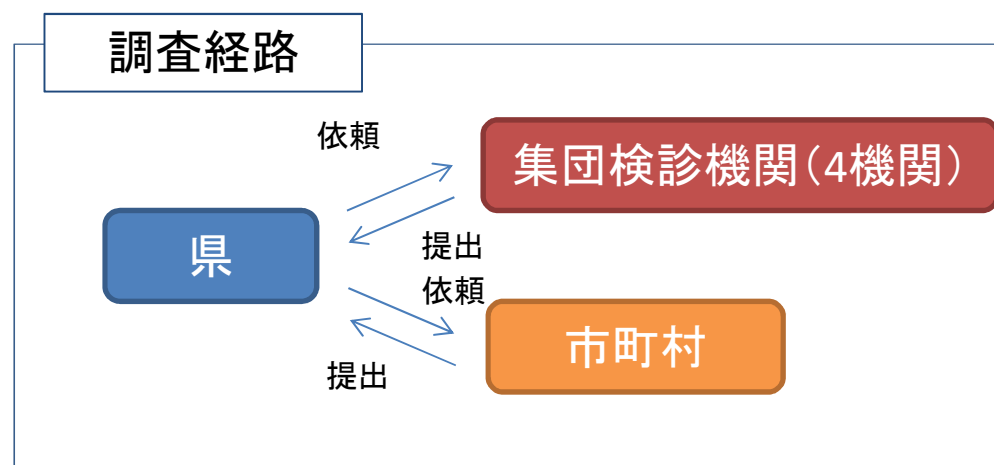
H29年度集団検診機関チェックリスト調査について

【調査内容】

- ・国立がん研究センターの「事業評価のためのチェックリスト調査(検診機関用)」を使用。

【調査対象(4機関)】

- ・青森県総合健診センター
- ・弘前市医師会健診センター
- ・八戸市総合健診センター
- ・五戸町健診センター



【評価方法】

- ・目標値は未設定。(※全機関において、全て実施されることが望ましい。)
- ・－(回答対象外)の項目を除いて実施率を算出する。
- ・委託元の市町村にも回答を依頼した部分は、検診機関の回答と、市町村の回答を組み合わせる。(資料4-2中に詳細を記載)

集団検診機関に対する検診機関用チェックリスト調査で実施率が低い項目 (H29年度実施分)

目標値	項目		現状(問題となる部分のみ抜粋)	実施率 <small>50.0%以下赤字</small>		
				H28	H29	
【未設定】 ※全機関において、全て実施されることが望ましい。	共通	①受診者への説明	・精密検査の方法について説明しましたか	0.0%~25.0%	50.0~75.0%	
			・検診の有効性に加えて、がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「陽性」となる場合もあること(偽陽性)など、がん検診の欠点について説明しましたか	0.0%	50.0%	
			・各がんがわが国のがん死亡の上位に位置することを説明しましたか	0.0%	50.0%	
			・【肺】禁煙及び防煙指導等、肺がんに関する正しい知識の啓発普及を行いましたか	25.0%	50.0%	
	部位別	胃	③問診、胃部エックス線撮影の精度管理	・読影は二重読影とし、原則として判定医の一人は日本消化器がん検診学会認定医でしたか	100.0%	50.0%
		肺	②質問(問診)、及び撮影の精度管理	・1日あたりの実施可能人数を仕様書等に明記しましたか	0.0%	0.0%
		乳	②問診及び撮影の精度管理	・乳房エックス線撮影における線量及び写真の画質について、日本乳がん検診精度管理中央機構(旧マンモグラフィ検診精度管理中央委員会)の行う施設画像評価を受け、AまたはBの評価を受けていますか	50.0%	25.0%
	子宮頸	②検査の精度管理	・細胞診の方法(従来法/液状検体法、採取器具)を仕様書に明記しましたか	0.0%	0.0%	
	共通	④システムとしての精度管理	・精密検査方法及び、精密検査(治療)結果(内視鏡診断や生検結果、内視鏡治療または外科手術所見と病理組織検査結果など)について、市町村や医師会から求められた項目の積極的な把握に努めましたか	50.0~75.0%	50.0~75.0%	

集団検診機関に対する検診機関用チェックリスト調査(H29年度実施分)まとめ

区分	項目	県の対応方針
受診勧奨に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者に対して、がん検診や精密検査の十分な説明をすること ・【肺】禁煙及び防煙指導等、肺がんに関する正しい知識の啓発普及を行うこと 	<p>・検診機関と市町村に対して、連携して実施することを依頼・助言することとしたい。</p>
検査に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・【胃】読影は二重読影とし、判定医の一人は日本消化器がん検診学会認定医とすること ・【乳】エックス線撮影における線量及び画質は、基準以上の評価を受けること 	
仕様書に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・【肺】1日あたりの実施可能人数を仕様書に明記すること ・【子宮頸】細胞診の方法や委託機関名を仕様書に明記すること 	<p>・検診機関に対して、それぞれの項目について改善するよう、依頼・助言することとしたい。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・精密検査方法や結果について、市町村や医師会から求められた項目を積極的に把握すること 	